

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	子育て支援センター事業			事業番号	06-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	岩田 孝	子育て支援課	齋藤 浩人	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち		
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで喜ぶまちづくり		
		施策展開の方向	1	子どもを産み育てやすい環境のまちをつくる		
		施策	6	子育て家庭への支援充実		
予算事業名	子育て支援センター事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成9年度	～	終了年度	-	
関連法令等	児童福祉法、次世代育成支援対策交付金交付要綱、地域子育て支援拠点事業実施要綱、次世代育成支援対策推進法					
国・県の計画等	-			計画期間	-	
関連個別計画	いせはらっ子応援プラン			計画期間	平成22年度～平成26年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	近年の核家族化の進行や地域社会における人間関係の希薄化等により、家庭や地域における育児力は大きく低下しており、保護者の育児不安・孤独感が増大している状況である。					
目的 (何をどうしたいのか)	地域の子育て家庭の支援活動を企画、調整、実施する「子育て支援センター」を設置し、地域で孤立しがちで子育てに不安や悩みを持つ母親たちに対して、身近で気軽に利用できる”支援拠点”の役割を果たすことによって、母親たちの孤立感・育児不安の軽減・解消を図るとともに、育児をゆとりをもって楽しめる子育て環境づくりを進めていく。					
主な対象 (誰・何を対象に)	保護者と児童(主に就学前)					
事業内容 (手段、手法など)	・複雑・多岐にわたる市民ニーズ等を的確に把握し、必要な人材の育成等を通じて地域活力の向上を図り、地域ボランティア団体との協働によるセンターの運営を推進することにより、子育て支援の環境整備の促進を図ります。					
事業行程	項目	年度		28年度	29年度	
		子育て支援センター フリースペース設置	継続実施	継続実施		
	子育てひろばの設置	6カ所設置	6カ所設置			
	つどいの広場の設置	2カ所設置	2カ所設置			
	つどいの広場拡充	子育てサポーターへの委託実施	子育てサポーターへの委託実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		28年度	29年度
			地域における子育て支援 拠点の設置箇所数	子育て支援センター1 つどいの広 場1 子育てひろ ば6	子育て支援センター1 つどいの広 場2 子育てひろば6	子育て支援センター1 つどいの広場 2 子育てひろば6



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	市民協働による地域の子育て支援拠点を実現するため、「つどいの広場(なるせ)」(旧名称:「つどいの広場(いしだ)」)を子育てサポーター連絡会に全部委託する。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	伊勢原市子育てサポーター連絡会「つどいの広場(なるせ)」のみを業務委託
	<input type="checkbox"/> 補助金	補助先	
	<input type="checkbox"/> その他	具体的内容	
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	子育て支援センター フリースペース設置	継続実施	
	子育てひろばの設置	6か所設置	
	つどいの広場の設置	2か所設置	
つどいの広場拡充	子育てサポーターへの委託実施		
実施した取組の内容	つどいの広場(なるせ)事業を子育てサポーター連絡会に業務委託した。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	地域における子育て支援 拠点の設置箇所数	子育て支援センター1 つどいの広場1 子育てひろば6	子育て支援センター1、つどいの広場2、子育てひろば6
			29年度

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)		9,821		千円		千円			
	内訳	国県支出金 ①	6,547		千円		千円			
		地方債 ②	0		千円		千円			
		その他特財 ③	0		千円		千円			
		一般財源 (a)-①-②-③	3,274		千円		0	千円		
	国県支出金の内容		子ども・子育て支援交付金 補助率:国1/3、県1/3、市1/3							
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0	人	0	千円		人		千円
		その他の職員	1.07	人	2,600	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	1.07	人	2,600	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)				12,421	千円				千円
	単位当たりコスト	対象数	定義	保護者と児童(主に就学前)		単位				単位
			対象数	25,482		延人				
総事業費 / 対象数		487		円					円	

評 価 (Check)

進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	目標に掲げた、子育て支援センターやつどいの広場、子育てひろばを設置・運営し、親子での遊びや利用者同士の交流、子育て支援に関する情報交換や育児相談など、地域の子育て支援拠点としての役割を果たした。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	子育て支援センターは、厚生労働省の通達に基づき、各市で実施されており、伊勢原市、厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町では行政が直営しており、大和市、座間市は委託形式で実施している。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	本事業は、利用者同士の交流による仲間づくりや、子育てアドバイザーからの助言を通じた育児不安の解消・軽減等を目的としており、子育て支援環境の充実を図る上でその役割は大きい。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	子育てサポーターや児童委員の協力を得ながら、地域で親子を見守り、子育てできる環境づくりを推進している。

↓
取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)

所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーターと連携・協力した事業運営が必要である。 ・実施会場(分室、石田西集会所、比々多保育園、児童館等)については、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の管理や利用方法等について、施設所管部署等との調整を図る必要がある。 ・つどいの広場の増設に向けた検討を行う必要がある。
次年度の取組方針		<ul style="list-style-type: none"> ・実施会場(分室、石田西集会所、比々多保育園、児童館等)については、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の管理や利用方法等について、施設所管部署等との調整を図る。 ・つどいの広場(なるせ)は、2年目となる業務委託による運営の安定化を図るとともに、つどいの広場(ひびた)の運営についても、子育てサポーターが定期的に参画し活動の幅を広げる。 ・つどいの広場の増設に向けた検討を行う。 		
所管部長による総評		子育て支援センター事業は、親子同士の仲間づくりや子育て情報の共有、育児不安の解消などのための子育て支援事業であり、子育て世代が地域で安心して子育てをするためには、重要かつ有効な施策であると認められる。今後も、実施会場の調整をしながら、市が養成した子育てサポーターと連携・協力し、さらなる事業の充実を図っていくべきと考える。		